

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400602	事業の開始年月日	平成17年9月1日	
		指定年月日	平成23年9月1日	
法人名	医療法人 愛生会			
事業所名	グループホーム こころ			
所在地	(〒246-0015) 横浜市瀬谷区本郷3-25-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成30年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成31年2月8日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは駅から徒歩10分と立地条件の良い場所に有りますが、周りはまだ畑や、竹林などが有り自然の中に四季折々の植物や野菜で季節を感じる事ができます。反面、駅の周りは開発によっていくつかのスーパーや専門店が有り、利用者様はスタッフと共に、歩いて買い物などに行ってください。地域の自治会の文化祭やお祭りに参加したり、小学校の作品展に利用者様の塗り絵や折り紙の作品などを出展したり、4年生のクラス毎の訪問を受けたりと、地域の皆様と交流をさせて頂いています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下ビル9階		
訪問調査日	平成30年11月14日	評価機関 評価決定日	平成31年1月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】
この事業所は相鉄線瀬谷駅から徒歩10分程度の大通りから少し入った静かで平坦な住宅地に位置している。周りには畑が点在し日当たりが良い。建物は軽量鉄骨2階建てで1階と2階に各ユニットがある。建物内はバリアフリーでエレベーターと階段が使える。庭には家庭菜園があり夏野菜を栽培して収穫した。

【医療連携と看取り対応】
この事業所の運営法人である医療法人愛生会は三ツ境病院や訪問看護ステーション、グループホームなどを運営している。三ツ境病院から月2回医師が往診に訪れるほか週1回看護師が訪問して健康管理をしている。協力医療機関の医師とは24時間連絡が取れる体制になっていて、利用者や家族の意向を確認して看取りも行っている。

【外出支援】
身体機能が低下し要介護度が上がると外出が難しくなっていくが、職員の提案で「散歩表」をつけるようにして、利用者みんなが週に少なくとも2回は散歩に出るようしており、車椅子の方も職員が車椅子を押して散歩に出ている。月の目標に「利用者と一緒に買い物に行こう」を掲げ、利用者は事業所や自分が必要な物品等を買いに職員と一緒に出掛けている。年間行事の中に花見や遠足など車で出かける計画を立てて実施している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ころ
ユニット名	ぬくもり

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼時に職員で理念唱和を行っている。また、新しい職員にはその都度意味を説明して理解を得ている。	現在の理念は2年前に管理者と職員で話し合い作成した。開所時からの理念を見直し「私たちは、利用者が馴染みのある環境の中で その人らしい生活を送って頂けるよう支援させていただきます」を掲げて日々の実践をしている。理念は玄関、各フロアーに掲示し、朝礼で唱和している。事業所紹介のパンフレットには以前の理念が印刷されていて、新しい理念に訂正されていない。	事業所紹介のパンフレットを見直し、新しい理念に訂正されることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し地域行事(小学校の運動会、ケアプラザの敬老会等)に参加している。また、施設での行事等でも近隣住人に参加の呼びかけを行っている。	各ユニットで本郷第3自治会に入り、自治会費を納めている。自治会総会には管理者が出ている。地域の文化祭や盆踊り、日枝神社の祭りに出かけている。地域情報は運営推進会議で自治会長などから聞き地域行事に参加している。大門小学校5年生が毎年来訪し、合唱、朗読を披露している。利用者と一緒に折り紙やあやとりをして交流している。行事には、新日本舞踊や太鼓、フラダンスのボランティアが来ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方が見学に来られた際に認知症の事例をもとに対処方法を説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では状況報告書をもとに日頃の様子(レク・事故・研修内容)を報告し質疑応答にてサービスの向上へつなげている。	運営推進会議は2か月に1度開催している。参加メンバーは利用者、家族、自治会長、民生委員、介護相談員、地域包括支援センター職員、瀬谷区職員、管理者、ユニットリーダーなどで、活動報告、事故報告、意見交換、情報交換をしている。参加者から事故報告の書式について提案があり、事故の状況や原因、今後の対策も記入できるように変更した事例がある。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の方とは困難事例の対応を相談しアドバイスを頂いている。介護相談員の方が月に1度来所され違った視点で利用者様の声を聞いて頂いている。	困難事例を区の高齢・障害課に相談している。高齢・障害課の職員や介護相談員の変更があった際に新任の方が運営推進会議に参加している。生活保護費を受給している利用者があり生活支援課の職員とも連携を図っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に2度「身体拘束と虐待」について内部研修を行っている。新人職員には積極的に外部研修の参加を促している。	玄関は開錠している。以前、利用者が一人で出てしまったことがあり、職員間で相談した結果、各ユニットの出入り口は施錠する事になった。利用者が外に出たい様子の時は都度対応しており、開錠の可能性を模索しているが実施には至っていない。職員は身体拘束や虐待について研修をして、身体拘束の内容を理解している。居室に起き上がりがわかるセンサーを設置している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待がどのようなものか事例をもとにそれによるリスク等について説明を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	左記の制度を要するもしくは今後必要とされるであろう利用者様並びにご家族様には制度の情報提供を行い状況に応じ支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の変更時に関しては事前に理解を得れるよう説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様とは電話やお手紙等で近況報告を行っている。また、月に一度役所から介護相談員が来所され利用者様が外部の方に意見や要望を表せる機会を設けている。	毎年母の日に家族会を開催している。夏祭りや忘年会などの行事に家族が来て交流している。意見箱は置いてあるが意見が入らないので、本年度は夏祭りの時にアンケートを実施した。家族の意見や要望は来所時にいつでも聞くようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議や個人面談で意見などを吸い上げ、運営に反映させている。	全体会議、ユニット会議が月1回開催され、職員は意見を出している。個人面談を年1回行っている。自己評価記入は各ユニットで職員全員が意見を出しユニットリーダーと管理者でまとめた。職員の提案で掃除機をコードレスに替えたり、台所にレンタルマットを敷いたり、脱衣所の配置物の片付けをした。また、散歩表を作成し、利用者が週2回以上散歩に出られるようにした事例がある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月に一度経営者会議にて各事業所の状況報告にて把握している。それに応じ給与のベースアップや必要な研修、人員配置を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得に対し、助成や勤務体制の変更等行いスキルアップに対するバックアップを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修や他事業所の行事に参加することで自分のホームのあり方やサービスを見つめ直す機会を設けている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に利用者様から施設での生活等に対する要望を伺い、対応方法等一緒に考える等し寄り添うケアを心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の状態に合わせ可能な限り、ご家族様のご要望に沿った形でケアを行い関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様、ご家族様からお話を伺いアセスメントを取りよりその人らしい生活に向け課題を見出しケアプランに反映しケアを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	居室清掃や食事作り等職員と一緒に行って頂いたり、同じ物を食べ同じ時間を過ごす事で関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から情報共有をおこなっており、ご家族だからこそ出来ること等を依頼し、対応して頂いたり居室内や外で家族で過ごす時間を設ける準備のお手伝いや調整等行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙や電話などのやり取りや近隣で馴染みの場所へ散歩に行ったりと施設に入ること制限が出来ないよう努めている。	入所前から通っている美容院へ家族対応で今も通っている方がいる。訪問理容・美容の方と新しい馴染みの関係ができています。家族と墓参りに行ったり馴染みのレストランに出かけている。入所前からの信仰で神父様と信者が年2回来訪し聖餐式を行っている方がいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格等把握し、利用者様同士の関係が上手くいくよう声掛けや誘導等の橋渡しとなるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後にも手紙や電話のやり取りは行っておりこちらで可能なことに関しては支援させて頂いている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人様には定期的に施設での生活のご要望を伺っている。また日頃の会話や行動、表情等からも思いを推察し支援を行っている。	入所時に家族から生活歴を自由に書いてもらい利用者の得意なこと、好きなことを把握している。華道の先生だった方に正月の生花飾りをお願いし、水の管理もしてもらっている。日常の会話から希望を把握し、会話が困難な方は表情や動作から思いを汲み取り、本人本位の対応をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様の来所時等には生活歴や特性等お伺いしている。また利用者様との会話からも過去のお話などを伺い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	午前午後の申し送りです細な気付き等でも職員間で共有し現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のユニット会議で個々の課題や適したケア方法等話し合っている。また事前にご家族様からも意見を頂き反映させている。	毎月各ユニットでカンファレンスを行い職員が意見を出し合っている。介護計画の長期目標、短期目標の見直しは基本的に6か月ごとに行っている。急変時には随時見直している。毎日「モニタリングサービス実施表」を記入し評価につなげている。介護計画には医師や看護師、薬剤師、マッサージ師の意見も反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や申し送りノート、業務日誌に特変状況を記載し情報共有している。変化に合わせた対応を心掛け今何が必要なのかを考え実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	「よりその人らしい生活」をテーマに今何が弊害になっているのか何が必要なのかをその都度考え提供している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の小学校と連携し作品展への出展や交流会を行っている。また地域行事や運営推進会議に参加していただくことで地域との交流が図れる機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に二回の訪問診療、週に一回の訪問看護は三ツ境病院に依頼しており連携が取れている。またご利用者様、ご家族様の要望に沿い他の医療機関なども利用し適切な医療が受けれる支援を行っている。	協力医療機関の医師が月2回往診している。訪問看護ステーションから看護師が週1回来所して利用者の健康管理をしている。眼科や皮膚科などの専門医には職員や家族が対応して受診している。外来受診記録で情報を共有している。歯科医は毎週来て口腔ケアや必要に応じた治療をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護の際に特変事項を伝え、情報共有している。また緊急を要する際には電話連絡し指示を仰いだり必要に応じ来所し処置を受けて頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際にはサマリーの提供を行い情報共有を行っている。入院期間中もお見舞いに行く等し精神的な安定を図り退院への意欲向上につなげている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期を迎えた際には医師、職員から状況報告を行っている。その中で地域関係者や他事業所で行える事等方向性や対応方法を取り決め支援に取り組んでいる。	入所時に「重度化した場合における（看取り）指針」を説明し、同意書を受け取っている。「終末期の延命医療に関する同意書」は毎年4月に再確認をしている。協力医療機関の医師と24時間連絡できる体制になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に消防署職員から心肺蘇生法や止血方法など講習を受け緊急時に備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防災訓練では近隣住民の方に参加して頂き職員がどのように動いているのかどのような事を依頼したいか等意思確認を行っている。また外出レク等でも避難誘導を想定し行っている。	年2回避難訓練を行っている。1回は消防署職員の立ち合いで「火元にどれだけ早く気づき初期消火ができるかが大切」とのコメントを、また、「非常ベルが鳴ったら火災報知機を見る癖をつけ火元の確認をして避難するように」とのアドバイスをもらった。夜間や地震を想定した訓練も行っている。備蓄は、防災備蓄リストで管理し3日以上食品と水や日用品、バーベキューコンロと炭がある。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様お一人お一人の人格を尊重しプライバシーを損ねない言葉掛けや対応を行うよう心掛けている。	車いす対応の広いトイレにはカーテンを付けて引き戸が開いても見えないようにしている。職員に対して、トイレ誘導は、トイレという言葉を使わない表現で声掛けをするように指導している。新人が増えたので今月から接遇委員会を立ち上げて取り組むことにしている。個人情報事務所のキャビネットで施錠管理をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ利用者様が自己決定できるような言葉掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合でなく利用者様のペースに合わせるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服選びや整髪等はお声掛けし利用者様に行っている。ご自身では難しい方も職員と共に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ボードに1日のメニューを掲示し体操時に読み上げている。そこから楽しみに繋がるよう会話をしている。また食事作りや片付け等お手伝いしていただき食事の話題ができる環境である。	食材と献立は業者から届くが、行事やお出かけの時はスーパーに食材を買いに行き事業所で調理している。誕生日には好みの食事を聞き、居室担当職員と2人で利用者の好みの物を食べに出かしている。パン食が好みの方にはパンを提供している。下ごしらえや片付けを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量は記録し把握している。午後に小計を取り少ない方にはお好きな物を提供したり分けて提供する等対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後に口腔ケアを行って頂いている。必要に応じ仕上げ磨きをさせていただいたり週に一度の訪問歯科で口腔状態の確認を行って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	24時間表記の表をもとに排泄リズムを把握し声掛けや誘導を行っている。	排泄チェック表から利用者の排泄パターンを把握し、さりげない声掛けと誘導をしている。入所前はリハビリパンツを利用して尿意がなかった方が職員の声掛けで尿意が戻ってきた事例がある。トイレ誘導をまめに行い布パンツに戻り、かぶれが軽減した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬には頼らないよう、毎朝ヨーグルトの提供を行ったり午前午後運動する機会を設け便秘解消に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	極力希望に沿った日や時間帯でお声掛けを行っている。また季節に応じ、ゆずやしょうぶを入れたり楽しんでいただけるよう努めている。	週2回は入浴できるように1日3人を目標に入浴をしている。入浴時間の希望もなるべく聞き入れている。季節のゆず湯や菖蒲湯を楽しんでいる。要介護度が高くなり湯船に入りづらい方にはシャワーで浴室を暖めシャワー浴をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中昼寝が必要な方には臥床する時間を設けている。また眠りに入るのに時間の掛かる方などには温かい飲み物を提供したり側に寄り添う等し支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	目的については受診記録から薬に関しては薬情をもとに確認している。また変更時にはモニタリング期間を設け介護記録と別に記録や申し送りを行い医師に繋げている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞を取りに玄関先へ出て頂いたり、別の階へ職員と荷物を取りに行ったりしております。定期的にノンアルコールビールを召し上がられる方もいらっしゃいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物を実行的に行っており年間行事等では集団外出などもおこなっている。	月目標で「利用者と一緒に行こう」を掲げ利用者が外に出かける機会を増やすようにしている。週2回は全員が散歩に出るように、散歩表を記入している。外気浴もできるように配慮している。年間行事で花見や遠足など車で出かける機会も作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物同行時にお財布をお渡しし支払いをして頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望のあった際には電話やお手紙を送って頂けるよう支援しており、また定期的に声掛けし要望の有無を確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示板を1ヶ月に1度作成し季節感を感じていただけるようにしております。フロア照明は数段階に明るさが調整でき状況に応じて変更している。また室温、湿度計にて空調管理を行っている。	年1回遠足行事の日に業者が入り床の掃除とワックスがけをしている。日々の掃除がゆき届いていて築10年以上の建物だが水回りもきれいに維持されている。玄関や2階踊り場にはシクラメンが飾られ、洗面台には菊が活けてあった。壁には行事の写真やみんなで制作した作品が掲示してあった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の関係性を考慮し食席を決めさせていただいております。また食席から離れた場所にソファを設置しそちらで寛がれる利用者様もいらっしゃいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具の持込が可能でありそれぞれ使い慣れた家具を使用し居室で過ごされている。	居室にはエアコン、換気扇、照明、クローゼットなどがあり、利用者は使い慣れた家具や写真、仏壇、テレビ、自分の作品などを持ち込み、自分に合った居住空間を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事、出来ない事を見極め必要最低限の介助を行い残された力を生かして頂いている。		

事業所名	グループホーム ころこ
ユニット名	やすらぎ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝1F2F合同の朝礼を行う際、理念の唱和を実施しています。また日頃より住み慣れ親しんでこられた地域の話題を会話に取り入れコミュニケーションを図っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しています。敬老福祉大会に参加させて頂き、小学校の文化祭に利用者様が作られた作品を展示して頂いております。又、小学4年生の生徒さん達の来訪もあり、一緒にレクリエーションを楽しんで頂いております。施設の行事は近隣の方々にもお声掛けをしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会を2ヶ月に1度実施し、地域の代表の方の参加をお願いしております。その際、認知症の方の生活のご理解を頂くと共に、地域の方々が抱えている介護の不安や相談をお受けしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御参加頂いた皆様のご意見やアイデアをホーム内で共有し、利用者様のケアに繋げています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	困難事例の対応を相談しアドバイスを頂いております。又、介護相談員の方が月一度の訪問をして下さり、利用者様のご意見を聞いて下さっています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	8月に身体拘束について内部研修を実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	各自内部研修のマニュアルを持参しています。話し合いの機会を持っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人様がついている利用者様の事例を参考にスタッフに説明をしたり、家族様の相談を受けアドバイスをを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は充分なお時間を取って頂き、ご理解頂くまで説明をさせて頂く。改定などあった時は文書を送付し同意していただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様のご意見やご要望をスタッフ内で共有しています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人的に意見を聞き、ミーティングにて反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の向上心繋がる様に話し合いの場を設けています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の参加や他事業所への交換研修の実施を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他事業所との交換研修において、お互いの良い所を共有しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の困っている事、求めている事を理解し、話し相手になる機会を多く持ち、不安感を持たせない様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困っている事、不安な事、要望を把握。受容的な姿勢で支援対応に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一番必要とされている事を考え情報を聞きながら支援、対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中から、出来る事はして頂けるよう言葉がけに留意し役割意識が持てる様支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	カンファレンスに参加し、情報を共有しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでもご面会頂ける環境となっております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士、話が弾む様職員が間に入り、会話を盛り上げるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて電話や手紙などで相談や支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居時、家族様に話を伺い利用者様の希望を最優先すると共に利用者様と会話し表情などから察するように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前に家族様から利用者様の趣味や好きな事等をお持ちいただき安心した生活を送って頂きます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間シートを活用し水分、排泄の記録等をスタッフで共有して利用者様の変化にすぐに対応出来る様にしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様、家族様、看護師、医師、職員で意見を出し合いより良い介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、水分、排泄の記録等を活用してスタッフで意見を出し合いながら計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り、利用者様や家族様の不安を取り除ける様なサービスをさせていただきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の運動会など見学に行き、友好関係に努めています。又、相談員の方が来られ会話を楽しまれています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療、週1回の訪問看護で状態が分かる様になっています。こちらからも症状をお伝えし対応をさせて頂いております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個人記録、バイタルチェック等を利用し、訪問看護の時に伝え処置をさせて頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されると不安も多い為、職員がお見舞いに行く様にしています。また、ささやかではありますがご退院祝いもさせて頂いております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時よりご本人様やご家族様の意向を踏まえ段階的に終末期の在り方を説明している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応に関し消防署職員を招き講習を行って頂いています。また救急対応のマニュアルを閲覧出来る様にし直ぐに対応出来る様に個人ファイルを作成しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練や外出の際には避難訓練を兼ねて移動して頂いたりしている。また運営推進会議と日にちを合わせご家族様や近隣住民の方にもご参加頂いています。フロアマップを各階に貼り非常口や経路など見れる様にしている。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その時の状況や、利用者様の性格、心情などに合わせ、声掛けや対応を行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定をする事が困難な方には選択の機会を設け、お選び頂く等、意志を尊重出来るような声掛けや仕組み作りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のその時の気持ちや行動、言動を気に掛け対応を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択や日々お化粧をされる方等、都度声掛けし、対応しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者様と一緒にお菓子や食事作りをし、昔話も交え準備や片付けを行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分表をもとにこまめな声掛けやお好きな飲料、ゼリーなどをご用意させて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアをして頂き、個人に合わせてお手伝いをさせて頂き清潔保持を行っています。また定期的に歯科受診で状態の把握や指導を受け対応しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	1時間毎の排泄表を元に個々の排泄リズムの把握に努め、お声掛けをさせていただきます。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	極力下剤を使わぬよう、毎朝ブルー入りのヨーグルトやオリゴ糖、カルピス等の乳酸菌を摂取して頂き、排泄を促しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の希望に合わせて日にちや時間帯を調整しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の訴えに応じて昼寝をして頂いたり、空調や照明の調整を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があった時はスタッフ同士の申し送り、確認を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者さまに今までどんなことをされてきたのかお聞きし、洋裁等、教えて頂きながら活動して頂く時間を作っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物にお誘いし、日常的に外出をして頂いています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の同行時、お財布をお渡しし支払いをして頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在、家族様に連絡を取りたいとご要望がある方はいませんがご要望があれば対応できるぬ音を説明させて頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示板は季節を感じて頂ける様、1ヵ月ごとにご利用者さまと作成しています。夜になったら徐々に照明を暗くする等、混乱を招かない様行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の関係性を考慮し、食席決めや誘導を行っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具の持ち込みが可能であり、使い慣れた家具の中で生活して頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事、出来ない事を見極め、必要最低限の介助を行い、利用者様安心して生活して頂ける様努めています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 クルーフトーム こころ

作成日 平成31年2月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所紹介のパンフレットの理念が以前のままで新しい理念に訂正できていない	至急新しい理念に訂正する。	訂正済みのパンフレットを同封した。	
2		家族様ネットに書かされていた新しいスタッフが、入った時に誰か分からぬので分かる様に適切な内容があった。	全このご家族様にスタッフの状況を把握して頂く様にする。	毎月送付させて頂くお便りに新しいスタッフの紹介を載せていく。 スタッフの写真と代名をボードに掲示する	入職1回時。 スタッフの移動時 その都度、急時に 1月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。